



令和6年度

鮫川村勢要覧～資料編～

沿革

鮫川村に人が住みついたのは、村に残る高藪遺跡と姿平西遺跡から、縄文時代前期と推定されます。また、縄文時代中期から弥生時代後期におよぶ数々の遺跡も発掘されています。

この地方一帯は、上古は「陸奥」、中世は「赤坂の郷」と呼ばれ、中世以降は芦名氏、上杉氏、赤坂氏の所領、幕府直轄、さらに小見川藩、棚倉藩の所領と、次々に領主の交代がありました。

明治4年、廃藩置県により棚倉県と小見川県の所領となり、同年の合併により平県に所属、すぐに平県は磐前県と改称されました。明治9年に福島県が成立し、町村制が実施されました。明治22年、赤坂西野村、西山村、赤坂中野村、赤坂東野村、石井草村、富田村、渡瀬村の7か村が合併して、現在の鮫川村を構成しました。赤坂東野と石井草を併せて1行政区とし、他は旧村を1行政区として、6行政区で村政が行われました。昭和22年、地方自治法の施行により、町村制の村から地方自治法に基づく、地方自治体に。昭和24年、渡瀬区から青生野を1区に独立させ、7行政区となり現在に至っています。

自然

■位置

役場所在地	東経	北緯	海拔
鮫川村大字赤坂中野字新宿 39 番地 5	140 度 30 分 51 秒	37 度 02 分 40 秒	420m

■山岳

名称	所在	標高 (m)
朝日山	青生野 (国有林)	797.3
小株山	赤坂東野字戸草	724.0
妙見山	石井草字森ノ前	674.9
弓張堂山	渡瀬字大戸中	658.0
山王山	渡瀬字木之根	654.7
殿山	赤坂西野字高小龍山	629.5
墓地石山	西山字余所内	580.3

■河川

水系	名称	延長 (km)
鮫川水系	鮫川	12.5
	戸倉川	2.5
	落合川	3.5
	石井草川	2.5
	真坂川	3.5
	内ヶ竜川	3.5
	富田川	4.5
久慈川水系	渡瀬川	17.0
	江竜田川	2.0
	大戸中川	2.5
阿武隈川水系	殿川	4.0

■気象

区分 年次	気温 (℃)			降水量 (mm)			日照時間
	平均	最高 (極)	最低 (極)	総量	日最大	起日	
令和元年	11.2	35.4	-9.8	650.5	257.5	10/12	2043 時間/年
2	11.3	35.8	-10.0	378.0	72.5	1/29	2072 時間/年
3	11.0	34.0	-12.0	449.5	58.0	7/28	1161 時間/年
4	11.0	34.5	-10.6	326.0	66.5	9/24	機器不調のためデータ無し
5	13.6	35.5	-11.8	400.5	97.0	9/4	〃

(資料:農林商工課)

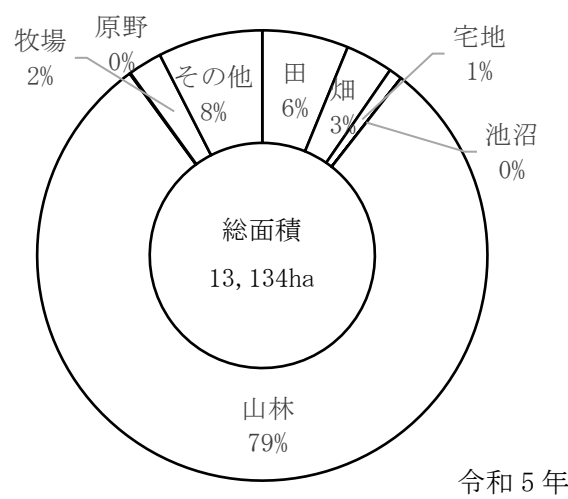
■月別平均気温 (単位:℃)

区分 年次	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
令和元年	-0.7	0.9	4.4	8.2	14.8	17.8	20.7	24.1	19.8	14.3	6.9	2.7
2	1.4	1.9	4.8	7.1	15.1	19.3	20.9	24.6	19.9	12.0	7.4	1.1
3	-1.5	1.0	6.8	9.0	14.6	18.6	21.9	23.1	17.5	13.0	6.6	1.7
4	-1.2	-1.1	4.7	10.4	14.0	18.2	23.2	23.0	20.1	11.6	7.8	1.0
5	-0.6	1.1	8.3	12.1	15.9	20.9	26.1	27.5	24.2	14.1	9.2	4.1

(資料:農林商工課)

■地目別面積（単位:ha）

区分 年次	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	牧場	その他
令和元年	13,134.0	804.0	435.0	125.0	0.5	10,435.0	9.0	404.0	921.5
2	13,134.0	800.0	435.0	125.0	0.5	10,428.0	9.0	404.0	932.5
3	13,134.0	815.0	449.0	125.0	0.5	10,426.0	9.0	403.0	906.5
4	13,134.0	814.0	449.0	125.0	0.5	10,429.0	9.0	321.0	986.5
5	13,134.0	814.0	448.0	125.0	0.5	10,429.0	9.1	321.0	987.0



（資料：固定資産概要調査）

人口

■世帯数及び人口の推移

区分 年次	世帯数 (世帯)	人口（人）				人口密度（人） (1km ²)	備考
		総数	男	女	1世帯当たり		
平成22年	1,106	3,989	1,973	2,016	3.6	30.4	国勢調査
令和2年	1,006	3,049	1,531	1,518	3.0	23.2	〃
3	1,001	2,964	1,492	1,472	3.0	22.4	現住人口調査
4	987	2,846	1,437	1,409	2.9	21.6	〃
5	990	2,786	1,418	1,368	2.8	21.2	〃

（資料：住民基本台帳）

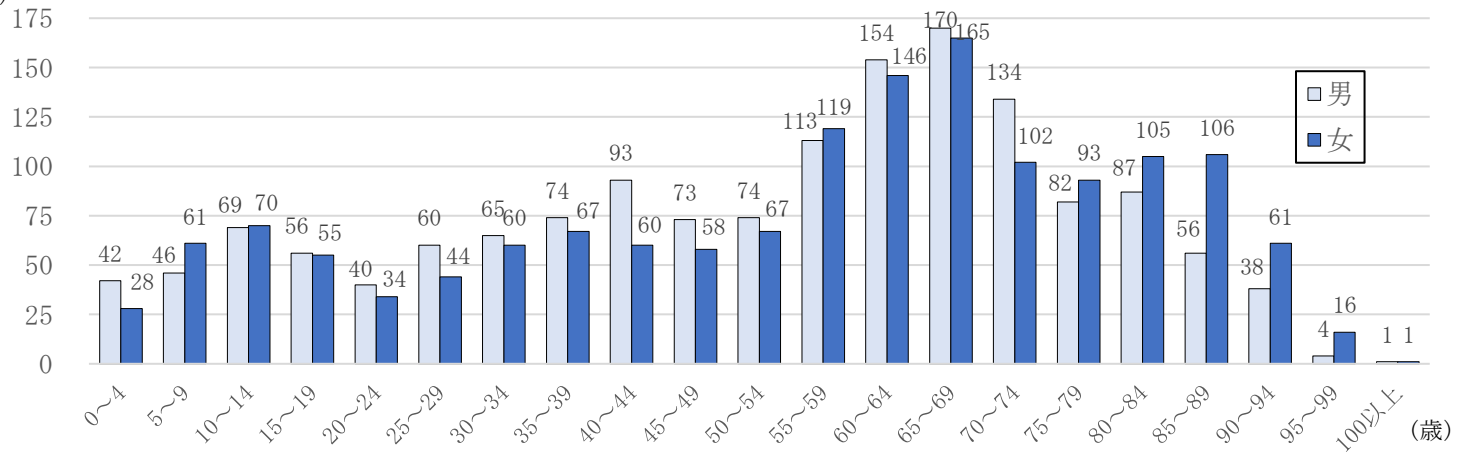
■人口動態（単位:人）

区分 年次	自然増減			社会増減			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
令和元年	14	61	△47	47	94	△47	△94
2	14	59	△45	32	81	△49	△94
3	9	65	△56	31	75	△44	△100
4	10	69	△59	37	65	△28	△87
5	10	58	△48	61	74	△13	△61

（資料：住民基本台帳）

■年齢 5 歳別人口構成

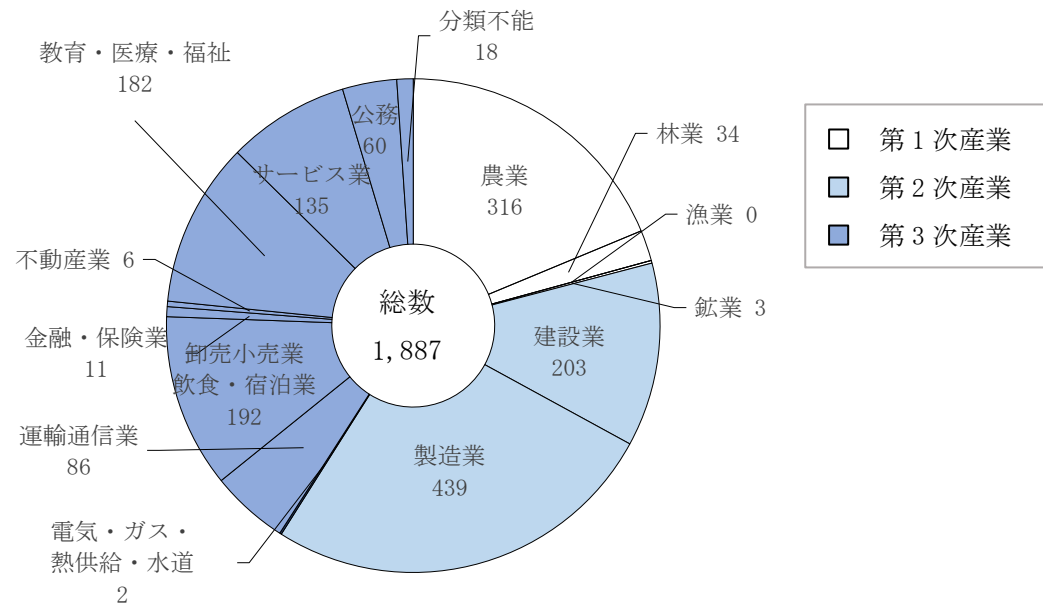
(人)



(資料: 令和 2 年国勢調査)

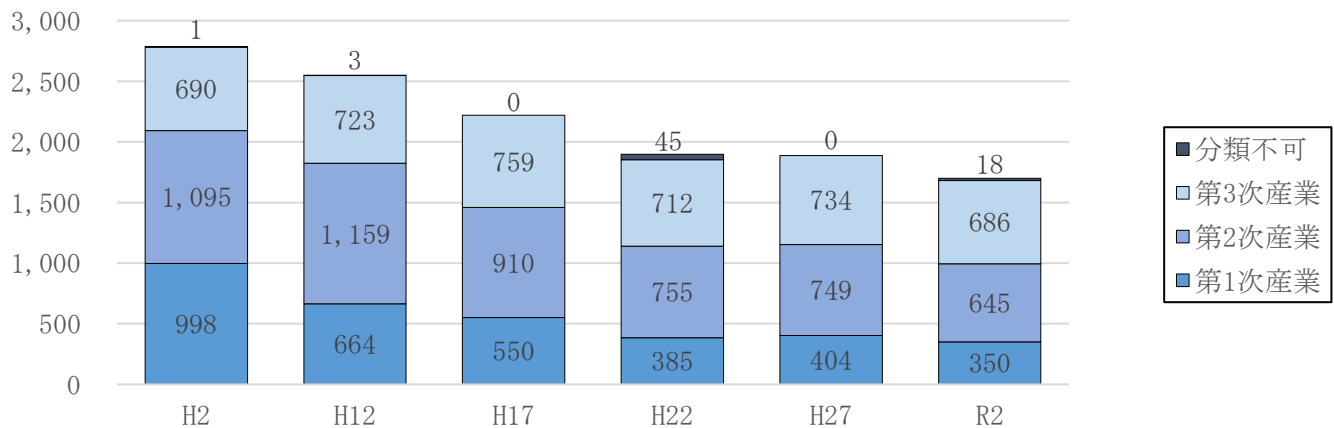
産業

■産業別就業人口の比率 (単位: 人)



(資料: 令和 2 年国勢調査)

■産業別就業人口の推移 (単位: 人)



(資料: 令和 2 年国勢調査)

■農家戸数（単位：戸、％）

区分 年次	総戸数	農家戸数	農家率	専業農家		第１種兼業農家		第２種兼業農家	
				戸数	率	戸数	率	戸数	率
平成２年	1,112	815	73.3	44	5.4	154	18.9	617	75.8
７	1,107	778	70.3	37	4.8	110	14.1	631	81.1
12	1,093	683	62.4	61	8.9	56	8.1	566	81.4
17	1,110	621	55.9	69	11	43	6.9	509	82.0
令和２年	1,006	352	35.0	39	11	72	20.5	241	68.5

（資料：農業センサス）

■経営規模別農家数（単位：戸）

区分 年次	農家数	経営耕地区分						
		0.5ha 未満	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～2.5	2.5～3.0	3.0ha 以上
平成２年	815	116	230	246	144	48	17	14
７	778	137	256	231	92	37	12	13
12	753	134	264	214	82	27	14	18
17	621	65	230	183	70	34	18	21
令和２年	357	44	116	85	47	30		21

（資料：農業センサス）

■経営耕地面積の状況（単位：ha）

区分 年次	総数	田	畑	樹園地
平成２年	1,126	702	364	60
７	964	660	292	12
12	837	593	242	2
17	805	592	211	2
令和２年	538	393	143	2

（資料：農業センサス）

■村の工業

区分 年次	事業所数 （か所）	従業者数 （人）	製造品出荷額 （万円）
平成 28 年	10	217	317,917
29	9	245	418,793
30	8	233	392,572
令和元年	8	240	372,246
2	8	178	364,741

（資料：農業センサス）

■村の商業

区分 年次	商店数（店）				従業者数 （人）	商品販売額 （万円）
	総数	卸売	小売	飲食店		
平成 3 年	73	2	71	—	179	202,596
6	68	1	67	—	173	194,718
9	61	1	60	—	154	193,836
19	51	3	48	—	127	93,169
28	34	—	32	2	95	65,238
令和 3 年	37	2	29	6	112	174,500

（資料：経済センサス）

教育

■学校別学級数と児童生徒数の推移（単位：学級、人）

年度	令和元年		2		3		4		5	
区分 学校名	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数
鮫川小学校	8	153	8	148	8	138	8	127	8	109
鮫川中学校	5	79	4	72	4	81	5	80	5	77

（資料：学校基本調査）

■幼稚園・小・中学校の現況（単位：学級、人）

（令和6年5月1日現在）

園・学校名	学級数	園児・児童・生徒数			教員数	職員数	教員1人あたり 園児・児童・生徒数
		男	女	計			
こどもセンター	6	29	12	41	14	5	2.93
鮫川小学校	8	52	52	104	12	1	8.67
鮫川中学校	5	30	40	70	12	2	5.83

（資料：学校基本調査）

■中学校卒業後の状況（単位：人、％）

区分 年度	卒業者数	進学者 (就進含)	専修学校等入学者 (就進含)	就職者	その他	進学率	就職率
令和元年	40	38	2	0	0	100.0	—
2	34	33	1	0	0	100.0	—
3	19	19	—	0	0	100.0	—
4	26	25	—	0	1	96.1	—
5	27	24	1	0	2	92.6	—

（資料：学校基本調査）

■体育施設の利用状況（単位：人）

区分 年度	青少年広場			トレーニングセンター	トレーニングセンタープール		
	昼間	夜間	計		昼間	夜間	計
令和2年	1,343	1,218	2,561	10,923	3,392	119	3,511
3	993	233	1,090	9,976	2,402	117	2,579
4	2,968	760	3,728	12,903	3,090	193	3,283
5	3,690	1,502	5,192	14,235	3,530	360	3,890

（資料：トレーニングセンター）

■公民館の利用状況（単位：件、人）

区分 年度		研修・講座	会議	相談 指導会	各種団体活動	集會合 展示会	計
	件数						
令和4年	件数	77	111	13	126	24	351
	人数	1,994	1,473	54	916	864	5,301
5	件数	34	127	26	250	57	494
	人数	436	1,405	91	3,244	2,519	7,695

（資料：公民館）

■村指定文化財

指定番号	種別	名称	指定年月日	所在地	所有・占有者
1	無形民俗	渡瀬の獅子舞	昭 48. 1. 10	渡瀬字江竜田	渡瀬獅子舞保存会
2	史跡	渡瀬村救荒修祭記碑	昭 51. 8. 14	渡瀬字木之根 88 番地 2	渡瀬区
3		追分石	昭 51. 8. 14	西山字前折戸 73 番地 1	阿久津 孝夫
4		越惣太郎就縛の地	昭 51. 8. 14	富田字反田 263 番地 1	大平 忠一ほか 1 名
13		赤坂館	令 4. 12. 21	赤坂中野字巡ヶ作	鮫川村ほか 3 名
5	有形	木造揚柳観音菩薩坐像	昭 54. 3. 29	赤坂西野字大塩	大塩農事組合
6		切石観世音	昭 54. 3. 29	赤坂西野字上 93 番地	切石観世音世話人
9		折戸阿弥陀三尊像	昭 60. 6. 20	西山字折戸 172 番地	折戸部落
10		富田薬師堂	昭 60. 6. 20	富田字彦次郎 210 番地	東光寺
11		赤坂家長屋門	昭 60. 6. 20	渡瀬字木之根 60 番地	赤坂 博男
12		熊野神社飛翔獅子型狛犬	令 4. 12. 21	赤坂西野字名下	熊野神社
14	天然記念物	強滝颯穴（おうけつ）群	令 4. 12. 21	西山字強滝	福島県

（資料：教育課）

■福祉施設

施設名	設置	敷地面積 (㎡)	職員数	利用の状況	
				定員	利用者数
こどもセンター	平 17. 4	11, 861	19 人	40 人 90 人	保育部：0 歳児 9 人、1 歳児 8 人、2 歳児 11 人 幼稚園部：3 歳児 14 人、4 歳児 13 人、5 歳児 23 人 一時預かり保育：1 人 (R5 年度)
保健センター	平 15. 4	2, 790	—	—	保健関係/延べ 1, 816 人、福祉関係/延べ—人、 その他/延べ 315 人、コロナウイルス予防接種/ 延べ 2, 911 人 (R5 年度)
村民保養施設 さぎり荘	昭 58. 4	3, 641	2 人	—	延べ 36, 963 人 (R5 年度)
高齢者 総合福祉センタ ーひだまり荘	平 8. 4	5, 041	13 人	通所 30 人 短期 7 人	①居宅介護支援事業：要介護認定調査 43 件、在宅介護 支援 813 件 ②訪問介護（366 日）2, 155 人 ③通所介護（256 日）3, 932 人 ④短期入所生活介護相当サービス 789 人 ⑤介護予防支援事業：介護予防支援・総合支援事業 551 件、筋力づくり教室支援 105 名、要介護認定調査 38 件 ⑥訪問介護相当サービス（366 日）473 人 ⑦通所介護相当サービス（256 日）1, 991 人 ⑧介護予防短期入所生活介護相当サービス 51 人

（資料：こどもセンター、住民福祉課）

福祉・保健・衛生

■基礎年金・国民年金受給者数及び年金額（単位：件、円）

区分 年次	老齢給付		障害給付		遺族給付		計	
	件数	年金額	件数	年金額	件数	年金額	件数	年金額
令和元年	1,219	792,575,898	89	76,538,225	4	2,650,566	1,312	871,764,689
2	1,226	806,799,431	89	75,854,375	3	2,206,021	1,318	884,859,827
3	1,234	818,631,743	89	75,972,000	3	2,203,793	1,326	896,807,536
4	1,213	809,842,103	84	71,586,950	1	415,637	1,298	881,844,690
5	1,212	831,542,354	80	69,121,800	1	424,829	1,293	901,088,983

区分 年次	死亡一時金		特別一時金	
	件数	年金額	件数	年金額
令和元年	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	1	145,000	—	—
5	—	—	—	—

（資料：住民福祉課）

■国民健康保険の状況（単位：人、円、％）

区分 年次	被保険者数	世帯数	医療費総額（費用額）				
			一般	退職	未就学児	高齢者	計
令和元年	825	478	216,543,171	206,090	1,852,840	72,056,230	290,658,331
2	804	467	189,237,758	—	1,787,210	94,274,909	285,299,877
3	789	458	208,818,660	—	2,643,640	101,214,735	312,677,035
4	776	461	190,615,918	—	2,506,240	95,452,808	288,574,966
5	761	457	217,459,546	—	1,720,390	88,867,494	308,047,430

区分 年次	1人あたり 費用額	対前年度伸率	1世帯あたり 費用額	対前年度伸率
令和元年	352,313	10.49	438,507	7.05
2	354,313	0.57	445,870	1.68
3	396,295	11.85	503,329	12.89
4	371,875	-6.16	625,976	24.37
5	404,792	8.85	674,064	7.68

※1人あたり・1世帯あたり
の費用額は、各年度の平均被
保険者数・世帯数により算出

（資料：住民福祉課）

■国民健康保険税の状況（単位：円）

区分 年次	医療給付費分			後期支援金分		
	保険税 課税賦課額	1人あたり 保険税額	1世帯あたり 保険税額	保険税 課税賦課額	1人あたり 保険税額	1世帯あたり 保険税額
令和元年	54,486,000	67,066	115,133	19,430,200	23,913	41,053
2	53,125,800	67,078	115,742	18,838,500	23,786	41,042
3	51,075,000	65,230	112,007	18,176,100	23,213	39,860
4	49,371,700	66,005	108,271	18,123,900	24,230	39,745
5	50,849,900	67,440	110,303	19,143,600	25,389	41,526

区分 年次	介護給付費分		
	保険税 課税賦課額	1人あたり 保険税額	1世帯あたり 保険税額
令和元年	8,028,200	28,125	34,109
2	7,739,600	36,681	30,591
3	7,191,000	31,678	37,847
4	6,760,000	30,588	35,957
5	6,807,000	30,525	37,197

※1人あたり・1世帯あたりの費用額は、
各年度の平均被保険者数・世帯数により算出

(資料：総務課)

■介護保険の状況（単位：人、円、％）

区分 年次	被保険者数 (2号被保含 む)	認定者数							
		要支援 1	要支援 2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
令和元年	1,281	16	29	29	36	47	35	27	219
2	1,294	19	30	31	45	45	36	22	228
3	1,300	10	30	26	36	43	40	29	214
4	1,278	11	30	29	39	42	45	23	219
5	1,276	14	30	36	35	36	45	25	221

区分 年次	介護給付費	対前年比	被保険者1人 あたり給付額	認定者1人 あたり給付額
令和元年	437,804,108	104.1	343,645	1,999,106
2	435,592,972	99.5	337,931	1,910,495
3	414,419,051	95.1	320,758	1,936,538
4	408,102,879	98.5	320,836	1,863,483
5	430,305,859	105.4	339,358	1,947,085

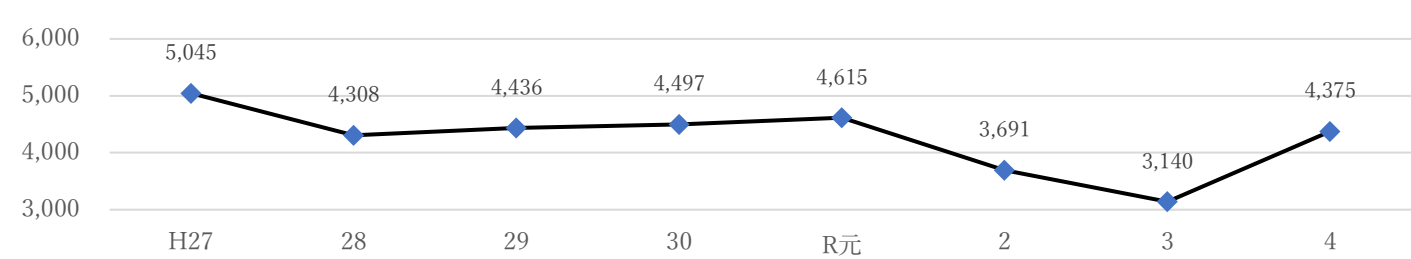
(資料：住民福祉課)

■介護保険料の状況（単位：円）

区分 年度	保険料課税賦課額		保険料 (基準額)	備考 (国による特別措置)
	特別徴収	普通徴収		
令和元年	71,933,400	6,419,420	64,800	
2	72,178,620	6,380,260	64,800	
3	74,987,620	8,182,620	68,400	
4	77,494,040	6,061,180	68,400	
5	77,062,880	6,624,240	68,400	

(資料：総務課)

■鯨川村国民健康保険診療所の利用状況（単位：人）



(資料：国民健康保険診療所)

生活環境

■村道の状況（単位：か所、m、％）

(令和6年4月1日現在)

階級	路線数	総延長	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
1級	10	31,983	31,843	31,282	98	31,839	100
2級	13	34,301	34,251	32,548	95	34,251	100
その他	120	103,070	102,148	79,250	78	79,404	78
計	143	169,354	168,242	143,080	85	145,494	86

(資料：地域整備課)

■国・県道の状況（単位：m、％）

(令和4年4月1日現在)

路線名		実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
国道	国道289号線	19,958	19,958	100.0	19,958	100.0
	国道349号線	19,146	13,519	70.6	13,519	100.0
	小計	39,104	33,477	85.6	33,477	100.0
県道	棚倉鯨川線	6,613	6,613	100.0	6,613	100.0
	勿来浅川線	13,073	9,042	69.2	9,042	100.0
	赤坂東野塙線	7,001	5,391	77.0	5,391	100.0
	赤坂西野石川線	4,403	2,537	57.6	2,537	100.0
	明内田中線	2,700	1,222	45.3	1,222	100.0
	小計	33,790	24,805	73.4	24,805	100.0
合計		72,894	58,282	80.0	58,282	100.0

(資料：地域整備課)

■村営住宅の状況(令和5年3月31日現在)

■定住促進住宅の状況(令和5年3月31日現在)

名称	位置	戸数 (戸)	名称	位置	戸数 (戸)
広畑団地	大字赤坂東野字広畑 197 番地	13	酒垂住宅	大字赤坂西野字酒垂 2 番地 1	2
前田団地	大字赤坂中野字東前田 24 番地 2	12	〃	大字赤坂西野字酒垂 3 番地 3	1
見渡団地	大字赤坂西野字茅 353 番地	12	茅住宅	大字赤坂西野字茅 135 番地	1
渡瀬団地	大字渡瀬字木之根 101 番地	13	猿子住宅	大字赤坂西野字見渡 147 番地	1
宿ノ入団地	大字赤坂中野字宿ノ入 74 番地 1	11	水口住宅	大字西山字水口 103 番地	7
計		61	〃	大字西山字水口 83 番地 2	3
(資料:地域整備課)			巡ヶ作住宅	大字赤坂中野字巡ヶ作 119 番地	1
			伏木田住宅	大字赤坂中野字伏木田 20 番地	4
			道少田住宅	大字赤坂中野字道少田 4 番地 3	1
			新宿住宅	大字赤坂中野字新宿 79 番地 3	1
			見渡住宅	大字赤坂西野字見渡 151 番地 1	1
			宿ノ入住宅	大字赤坂中野字宿ノ入 52 番地 1	1
			計		24

(資料:地域整備課)

■簡易水道の概況

区分 年次	給水人口 (人)	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m³)	1 日平均給水量 (m³)
令和元年	1, 635	613	172, 242	471. 9
2	1, 598	613	169, 787	465. 2
3	1, 573	617	165, 913	454. 6
4	1, 529	621	165, 179	452. 5
5	1, 487	618	164, 939	459. 3

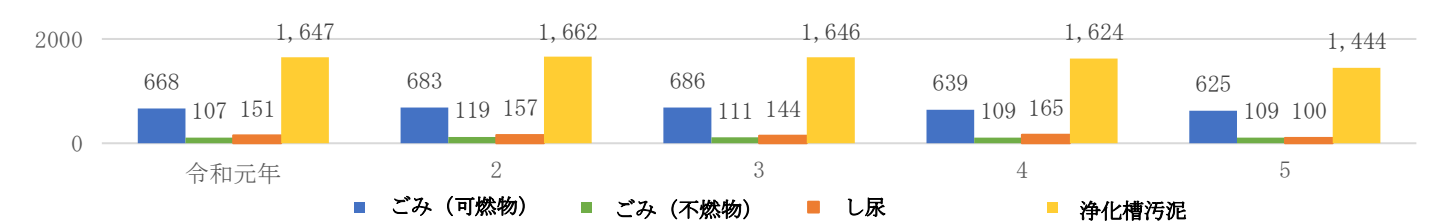
(資料:地域整備課)

■集落排水の概況

区分 年次	施設接続人口	施設接続戸数
令和元年	1, 273	208
2	1, 221	208
3	1, 207	212
4	1, 207	211
5	1, 211	228

(資料:地域整備課)

■ごみ・し尿の処理状況 (単位:トン、kl)



(資料:地域整備課)

運輸・通信

■定期バスの運行状況

区分	路線	運行回数（1日）
村営バス	棚倉～鮫川	2
福島交通（株）	石川～宝木～湯の田温泉	3
	塙～青少年広場	3

（資料：村づくり推進室）

防災

■消防団現有勢力

（令和4年12月31日現在）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	訓練部長	班長	副班長	団員	機能別消防団	計
本団	1	2	2	—	—	—	—	—	25	30
第1分団第1部	—	—	—	1	1	2	2	19	—	25
第1分団第5部	—	—	1	—	1	3	2	35	—	42
第2分団第2部	—	—	—	1	1	2	3	30	—	37
第2分団第3部	—	—	1	—	1	2	2	26	—	32
第3分団第4部	—	—	—	1	1	1	1	13	—	17
第3分団第6部	—	—	—	1	1	1	1	7	—	11
第3分団第7部	—	—	1	—	1	1	1	13	—	17
総数	1	2	5	4	7	12	12	143	25	211

（資料：総務課）

■消防施設の概況

消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付 積載車	小型動力ポンプ	携帯用消防無線 携帯用防災無線	消火栓	防火水そう
2台	19台	19台	68台	115基	92基

（資料：総務課）

■常備消防の概況

署員	建物	消防自動車	救急車	広報連絡車	無線機	ジェットシューター
9人	鉄筋コンクリート1階建 276㎡	1台	1台	1台	2台	3台

（資料：総務課）

■交通事故発生状況

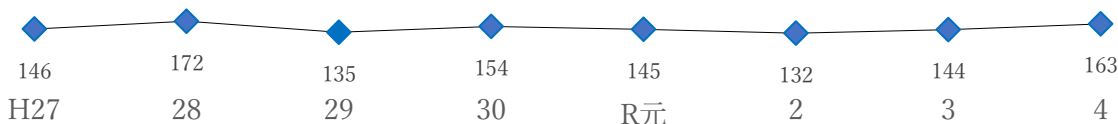
（各年12月31日現在）

年次	令和元年	2	3	4	5
発生件数	48	24	45	53	
死者数	0	1	0	0	
負傷者数	3	2	2	3	

（資料：総務課）

■救急出動状況（単位：件）

（各年12月31日現在）



（資料：総務課）

■火災発生状況 (各年 12 月 31 日現在)

年次	原因別件数			
	建物	林野	その他	計
令和元年	—	—	—	—
2	1	—	—	1
3	2	—	—	2
4	—	—	—	—
5				

(資料:総務課)

財政

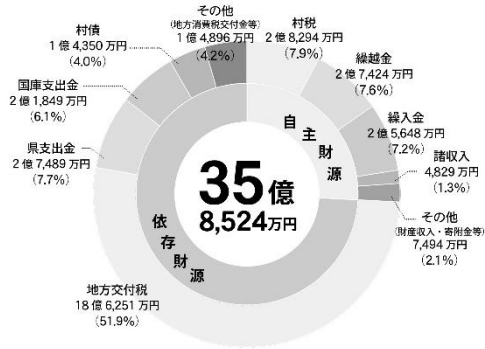
■年度会計別決算額の推移 (単位:万円)

区分 年度	一般会計	特別会計				
		国民健康保険 (事業勘定)	国民健康保険 (直診勘定)	簡易水道事業	村営バス事業	集落排水事業
令和元年	3, 719, 972	404, 525	69, 634	138, 856	12, 352	36, 649
2	4, 819, 771	397, 930	71, 894	142, 312	11, 002	34, 222
3	3, 978, 672	412, 784	59, 817	157, 975	11, 134	36, 087
4	3, 666, 740	390, 483	69, 985	103, 946	10, 081	44, 381
5	3, 585, 238	398, 157	53, 721	84, 942	19, 111	42, 105

区分 年度	特別会計			
	介護保険	交流施設	学校 給食センター	後期高齢者医療
令和元年	496, 117	17, 061	95, 158	37, 046
2	492, 187	14, 522	102, 983	38, 757
3	523, 193	—	95, 652	37, 583
4	533, 660	—	96, 049	37, 421
5	502, 328	—	105, 678	40, 034

(資料:総務課)

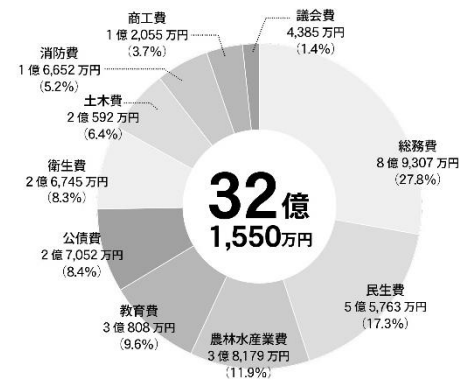
■一般会計歳入・歳出決算額（令和5年度決算額）



歳入総額

35 億 8523 万 7586 円

①自主財源			②依存財源		
	村税	2 億 8293 万 7 千円		地方交付税	18 億 6251 万 4 千円
	繰入金	2 億 5648 万 4 千円		国庫支出金	2 億 1848 万 9 千円
	繰越金	2 億 7423 万 9 千円		県支出金	2 億 7489 万円
	諸収入	4828 万 8 千円		村債	1 億 4350 万円
	使用料及び手数料	2725 万 5 千円		地方譲与税	6074 万 7 千円
	分担金及び負担金	573 万 8 千円		地方消費税交付金	7430 万 5 千円
	財産収入	2200 万円		法人事業税交付金	563 万 9 千円
	寄付金	1995 万 3 千円		環境性能割交付金	421 万 6 千円
				地方特例交付金	162 万円
				利子割交付金	8 万 3 千円
				配当割交付金	112 万 3 千円
				株式譲渡所得割交付金	121 万 6 千円
				交通安全対策特別交付金	—
				自動車取得税交付金	—



歳出総額

32 億 1549 万 8177 円

総務費	8 億 9307 万円
民生費	5 億 5762 万 8 千円
農林水産業費	3 億 8179 万 4 千円
公債費	2 億 7052 万円
衛生費	2 億 6744 万 8 千円
教育費	3 億 807 万 7 千円
土木費	2 億 591 万 8 千円
消防費	1 億 6652 万円
商工費	1 億 2055 万 2 千円
災害復旧費	12 万 4 千円
議会費	4384 万 7 千円

■村税の内訳

○課税賦課額（単位：千円）

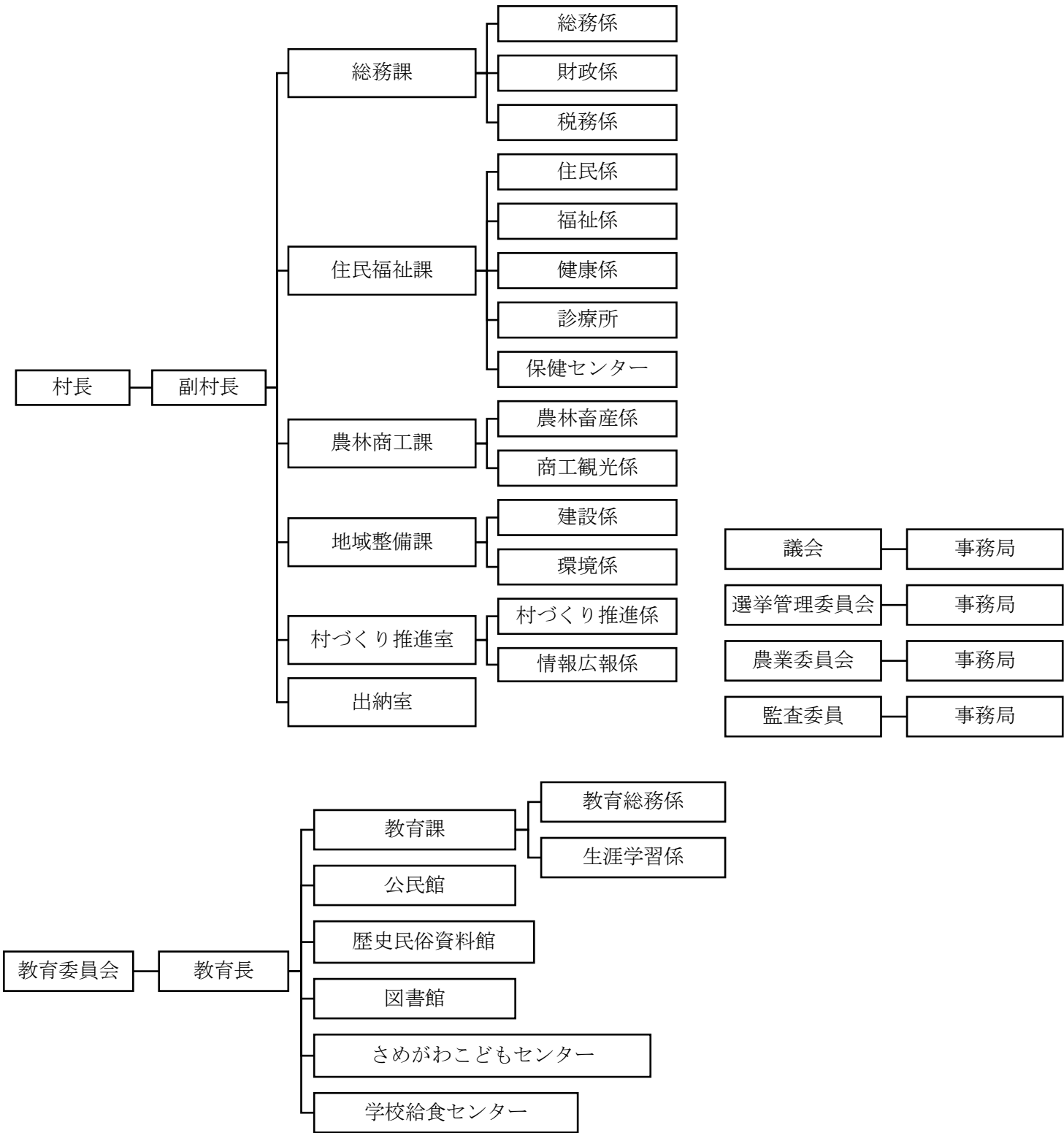
年度 区分	令和元年	2	3	4	5
課税賦課額	278,699	275,742	271,192	275,575	285,717
村民税総額	121,714	119,312	118,615	119,104	124,966
個人	106,473	108,264	106,643	108,264	112,022
法人	12,839	10,351	12,461	10,351	12,944
固定資産税	138,263	137,149	133,434	136,655	140,470
軽自動車税	14,316	15,040	14,971	15,545	15,539
村たばこ税	4,406	4,241	4,103	4,171	4,661
入湯税	—	—	69	100	81

○決算額（単位：千円）

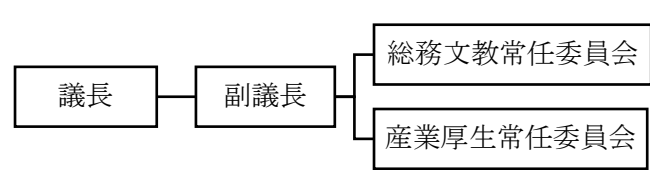
年度 区分	令和元年	2	3	4	5
決算額	277,408	274,337	268,780	273,526	282,938
村民税総額	120,734	118,200	116,677	117,820	123,189
固定資産税	138,036	136,908	133,037	136,026	139,666
軽自動車税	14,232	14,988	14,894	15,410	15,341
村たばこ税	4,406	4,241	4,103	4,171	4,661
入湯税	—	—	69	100	81

（資料：総務課）

■行政機構



■議会機構



■関係施設等一覧

名称	所在地	電話番号
鯨川村役場		
総務課	大字赤坂中野字新宿 39 番地 5	49-3111 (代表)
選挙管理委員会		49-3111
出納室		49-3116
住民福祉課		49-3112
農林商工課		49-3113
農業委員会		49-3113
村づくり推進室		57-6332
地域整備課		49-3114
議会事務局		49-3115
鯨川村公民館		
教育委員会教育課	大字赤坂中野字巡ヶ作 128 番地	49-3151 (代表)
村出先機関・関連施設等		
保健センター	大字赤坂中野字新宿 189 番地 1	29-1231
国民健康保険診療所		49-2028
高齢者総合福祉センター ひだまり荘	大字赤坂中野字宿ノ入 35 番地	49-3600 (代表)
地域包括支援センター (ひだまり荘内)		29-1233
村民保養施設 さざり荘	大字赤坂東野字広畑 199 番地 2	49-2205
農産物加工・直売所 「手・まめ・館」	大字赤坂中野字巡ヶ作 116 番地	49-2556
豊かな土づくりセンターゆうきの郷土 (さと)	大字富田字八斗蒔 76 番地 2	49-3474
鹿角平観光牧場 (売店)	大字青生野字世々麦 343 番地	48-2010
鯨川小学校	大字赤坂中野字道少田 86 番地	49-2005
鯨川中学校	大字赤坂中野字巡ヶ作 130 番地 4	49-3101
農業者トレーニングセンター	大字赤坂中野字宿ノ入 64 番地	49-3295
図書館	大字赤坂中野字新宿 64 番地 2	29-1150
歴史民俗資料館	大字赤坂中野字巡ヶ作 126 番地 1	49-3106
学校給食センター	大字赤坂中野字宿ノ入 34 番地	49-2113
さめがわこどもセンター	大字赤坂西野字酒垂 3 番地 3	29-1010
防災無線の放送内容聞き直し		49-2711
災害時対応電話		49-3302
		49-3303

村内の主な施設		
鮫川村商工会	大字赤坂中野字新宿 38 番地	49-2171
東西しらかわ農業協同組合鮫川支店	大字赤坂中野字新宿 83 番地	49-3131
鮫川郵便局	大字赤坂中野字道少田 59 番地	49-2160
棚倉警察署鮫川駐在所	大字赤坂中野字宿ノ入 11 番地 1	49-2110
棚倉消防署鮫川分署	大字赤坂中野字道少田 13 番地 1	49-2119
村民の店 すまいる	大字赤坂中野字新宿 64 番地 1	57-6901
鮫川たんぼぼの家	大字赤坂西野字岡田 59 番地 1	49-2022
特別養護老人ホームさめがわ	大字西山字水口 31 番地	29-1711
グループホームさめがわ		29-1713
赤坂西野区民センター	大字赤坂西野字頭割 62 番地 1	49-3395
西山区集落センター	大字西山字水口向 2 番地 1	49-2385
赤坂中野区集落センター	大字赤坂中野字道少田 94 番地	49-2383
東石区集落センター	大字赤坂東野字広畑 4 番地 2	49-2381
富田区集落センター	大字富田字彦次郎 318 番地	49-2867
渡瀬区集落センター	大字渡瀬字中山 230 番地 1	48-2253
青生野集落センター	大字青生野字大犬平 39 番地	48-2252

■村のあゆみ

明治 2 2 年	4 月	大日本帝国憲法発布・町村制施行(福島県内 413 町村)	9 年	9 月	第 1 回国勢調査
		●郡区町村編成法により、従来の 7 か村を合併し、「鮫川村」と改称	1 0 年	9 月	●国勢調査 人口 5919 人
		●村役場を赤坂中野字新宿 34 番地に開設(鈴木英之助宅)	1 2 年		●初めて村に電燈が点灯
	8 月	●初代村長に鈴木源之助就任(名誉職)	1 4 年		関東大震災
2 4 年	6 月	●大字ごとに区長および区長代理者各 1 名を置く(任期 2 年)	1 5 年	4 月	●国勢調査 人口 6220 人
2 6 年	2 月	●村長に福原就秀就任(有給)			●養蚕が盛んになり、繭の生産額が米を上回る
3 0 年	3 月	●村長に真野隆春就任(有給)			●経済更生計画「産業方針」を策定
3 1 年	7 月	●役場を赤坂中野字新宿 66 番地に移転(小松浅吉宅)	昭和	2 年	大正天皇崩御、「大正」から「昭和」へ(12 月 25 日)
	9 月	●村長に水野久馬右衛門就任(名誉職)		1 2 月	●鮫川～石川に初めて自動車が運行される(定員 5 人・フォード)
3 5 年	5 月	国勢調査を 10 年ごとに行うことを公布		3 年	●生活改善要目実行を策定
		●冷害			●村長に芳賀金之助就任(名誉職)
	9 月	●村長に蛭田栄之助就任(名誉職)		5 年	●冷害
3 6 年		小学校令を決め、教科書を国定とする			●地租免租、種穀料の給付、窮民救済土木事業の実施
		●鮫川村罹災窮民一時救助規定制定		6 年	●国勢調査 人口 6312 人
		●生活困窮者に食糧を供給する			●農業恐慌(各種農産物の価格が暴落)
		●冷害		8 年	満州事変勃発
3 9 年	9 月	●村長に須藤千代之助就任(名誉職)			●冷害
	1 2 月	●冷害			東北地区大凶作
		●救荒予備条例制定(1 戸当り玄米 2 升を積立し凶作備蓄食糧にする)		9 年	●経済更生計画を定め、経済立て直し運動を全村的に展開する
4 1 年	4 月	●戸草・松崎千代馬宅に家庭教育所を設置し、青年の夜学会にも使用			●経済更生村の指定を受ける
		●国から種牡馬を借り、優良馬の育成を図るため、鮫川種馬所を誘致。日露戦争のため、軍用馬の生産が盛んになる		1 月	●冷害
4 2 年	5 月	●杉種無償配布規定により造林を奨励		1 0 年	●政府から米の支給
4 3 年	4 月	●煙草耕作補助規定により葉たばこの生産を奨励			●恩賜郷倉や共同作業場を建築
	7 月	明治天皇崩御、「明治」から「大正」へ(7 月 30 日)			●救農土木事業を施行
		●冷害		1 0 月	●村長に本郷留蔵就任(名誉職)
大正	2 年	●農業実行組合が設立			●国勢調査 人口 6537 人
		第 1 次世界大戦勃発			●冷害
	3 年 1 0 月	●鮫川村公会堂建築		1 1 年	●政府から米の支給
	6 年	●鮫川村青年団結成		1 2 年	●経済更生計画の実施成果が顕著、農林大臣表彰。全国の模範 9 町村に選定される
	8 年	●繭、こんにゃくの価格高騰、畜産・林産収入も増加し、農家経済は好況		1 4 年	●手引ガソリンポンプ 1 台が初めて購入
					●村に初めての電話が役場に設置
					●経済更生特別助成村の指定
					●暗渠排水事業、木炭倉庫建築、めん羊の導入
					●村長に松本邦頭就任(名誉職)
					第 2 次世界大戦勃発
					●米穀撹精制限法公布(白米が禁止され、七分搗きが奨励される)

15年	●国有林野内農地所属替適地共同調査実施 ●国勢調査 人口 6676 人 ●政府が米穀の強制出荷命令を発動(米の供出割当始まる) ●米、塩その他生活必需品に切符制実施(週に 1 回の「節米日」が決められる)	25年 2月	●農業センサス 農家数 897 戸
		4月	●地方税法改正に伴い、村内納税組合 140、組合員 1184 名で組織
16年	●冷害		●保温折衷苗代村内に普及
12月	太平洋戦争勃発(12月8日)	10月	●国勢調査 人口 8077 人、世帯数 1180 戸
17年	●食糧管理法公布(米、大麦、小麦は政府が買い入れ、消費者に配給)	11月	●鮫川村公会堂を改修し、鮫川村公民館に改称
	●村長に斉藤市之助就任(名誉職)	26年 3月	●農地委員会と食糧調整委員会を合同し、農業委員会となる
19年	●空地利用の食糧生産要綱が発令され、校庭、路肩などに作物を栽培		●村長および村議会議員選挙(村長に吉田義美 当選〔無投票〕／村議会議員に中川西俊一ほか 21 名当選)
	●松根油緊急増産対策発表される		●鮫川中学校西野・西山分室を本校に併合
20年	●第 1 次農地改革(地主の小作地所有制限を設ける)	8月	●壇ノ岡遺跡の第 2 次調査行われる
	●冷害(戦争により農業労力不足、肥料欠乏、農薬不足により全国的に大凶作)	9月	日米安全保障条例調印
	●主食配給を減量(1 日 1 人 2 合 1 勺となる)	27年 4月	●赤坂西野区内字大塩、字官沢、字前田を赤坂中野区に編入
8月	広島・長崎に原爆投下(8月6日・9日) 降伏調印・太平洋戦争終結(8月15日)	7月	住民登録全国一斉実施
21年 2月	新円切り替え	11月	●鮫川村教育委員会発足
10月	第 2 次農地改革	28年 1月	●「西山のイチイ」県指定天然記念物
11月	日本国憲法公布	9月	町村合併促進法制定
22年 4月	教育基本法、学校教育法が施行(6・3・3 制実施)	11月	●鮫川村役場庁舎新築
	●新制中学校発足(鮫川中学校初代校長に石田 卯子八)		●県立塙高等学校鮫川分校校舎新築
	●村長および村議会議員選挙(村長に阿久津辰弥 当選／村議会議員に大池康義ほか 21 名当選)	29年 11月	●家畜管理所新築
5月	日本国憲法、地方自治体法施行	30年 2月	●農業センサス 農家数 938 戸
9月	●警防団を消防団と改称(団長佐藤晃)	4月	●村長、村議会議員および教育委員会選挙(村長に石田卯子八当選／村議会議員に山形武ほか 21 名当選)
10月	●国勢調査 人口 7676 人	5月	●鮫川村監査委員設置条例制定
23年 4月	●県立東白川農商高等学校定時制鮫川分校発足	7月	米の予約売渡制度実施
	●鮫川村農業協同組合設立	8月	●無医村となり村医制を復活。我妻辰彦を村医に委嘱し、鮫川診療所を開設する
23年 7月	●県立東白川農商高等学校定時制鮫川分校から 県立塙高等学校鮫川分校となる。	9月	●国有林野内開拓適地共同調査(59 町歩)
24年 4月	●鮫川村国民健康保険条例制定／鮫川村国民健康保険直営診療所開設	10月	●国勢調査 人口 8256 人、戸数 1210 戸
	●壇ノ岡遺跡の第 1 次調査行われる	11月	●農村振興総合助成施設事業を計画・実施
8月	●大字渡瀬区より青生野を分かち 1 区とし村内 7 区となる	31年 4月	●冷害による特別失業対策事業実施
12月	●鮫川村公民館条例制定	6月	●鮫川診療所を県厚生連に委託運営
		31年 7月	●新生活運動、花嫁衣裳貸出
		9月	●歴代村長の碑を建立
			●物故村政功労者追悼会
			●第 1 回戦没者慰霊祭を執行
			●国有林野内農地所属替適地共同調査(106.5 町歩)
		11月	●新農村建設事業農林漁業予備計画地域に指定

3 1 年 1 1 月	●役場隣に消防ポンプ自動車車庫建築	4 0 年 4 月	●母子健康センター開所(助産所併設)
3 2 年 1 0 月	●高冷地営農改善対策事業により乳牛 5 頭、 和牛 13 頭導入	5 月	●山村振興法制定
	●無電灯部落解消事業(葉貫)	9 月	●阿武隈山系開発期成同盟会結成(東白川郡 5 町 村)
1 1 月	●青生野区に消防団第 7 分団を設置	1 0 月	●国勢調査 人口 7291 人、世帯数 1249 戸
3 3 年 3 月	●新農村建設事業	1 1 月	福島県阿武隈山系開発促進協議会成(県内 34 市町村)
6 月	●学校部分林設定、杉の植林を実施(西野小学校 ・西山小学校)	4 1 年 1 月	●営農改善のための肉用牛貸付事業(100 頭)
	●天狗橋村有林に杉造林(3 ㍏)	3 月	●鮫川村学校給食センター建築
1 1 月	●鮫川村国民健康保険税条例制定		●第 1 次農業構造改善事業により畜産センター 建築、集団桑園造成(青生野、世々麦、楸木田)
	●高冷地営農対策事業実施	7 月	●道路愛護会、建設大臣より表彰
3 4 年 1 月	メートル法実施	9 月	●公職選挙法の改正により永久選挙人名簿とな る
	●鮫川村国民健康保険事業を再開	1 2 月	●鮫川村公民館新築
2 月	●鮫川村国民健康保険診療所開始		●渡瀬地区に農集電話設置
	●村議会議員定数減少条例制定(22 名から 18 名 とする)	4 2 年 2 月	●西野・西山地区に農集電話設置
3 月	●電気導入事業(葉貫地区 21 戸に点灯)	4 月	●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子八 四選〔無投票〕／村議会議員に芳賀悟朗ほか 17 名当選)
4 月	国民年金法成立	6 月	●村道官沢西山線定期バス運行
	●村長および村議会選挙(村長に石田卯子八再選 〔無投票〕／村議会議員に中川西金之助ほか 17 名当選)	7 月	住民基本台帳法制定
1 0 月	●消防ポンプ自動車購入 1 台(第 1 分団に配置)		●林業構造改善事業計画地域に指定
3 5 年 2 月	●世界農林業センサス実施(農家数 982 戸)	1 0 月	●渡瀬小中学校火災、即日災害復旧対策に着手
	●有畜農家創設資金により乳牛 25 頭導入	1 1 月	●自治制施行 20 周年記念式典
	●無電灯解消事業実施(姿平地区)	4 3 年 4 月	●鮫川保育所開所(定員 90 名)
	●鹿角平外草地改良事業実施	5 月	●東白川地方町村衛生処理組合塵芥処理事業 開始
1 0 月	●国勢調査 人口 7962 人、世帯数 1255 戸		
3 7 年 2 月	●産炭地域振興臨時措置法により、産炭地に指定	7 月	●広域農業開発事業地域指定の基本調査実施
4 月	●県立埴高校鮫川分校から県立東白川農商高等 学校鮫川分校となる	1 1 月	●明治 100 年記念式典
	●東白川地方町村衛生処理組合設置	4 4 年 3 月	●青生野小中学校校舎火災により焼失
7 月	●新生活運動、中暦盆、農休日統一	4 月	●鮫川中学校と渡瀬中学校統合
3 8 年 4 月	●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子八 〔三選〕／村議会議員に芳賀悟朗ほか 17 名当選)	4 5 年 1 月	●明治 100 年記念部分林村民の森造成(5.8 ㍏)
			●東野・青生野地区に農集電話設置 (村合計加入台数 959 台)
3 9 年 3 月	●第 1 次農業構造改善事業開始	2 月	●農業センサス 農家数 951 戸
	●壇ノ岡に村民運動場設置	4 月	●主要地方道勿来棚倉線、国道 289 号線に昇格
6 月	●東白川地方町村衛生処理組合し尿処理事業 開始	9 月	●過疎地域対策緊急措置法制定
	●蕨ノ草村有林に杉、松を植林		●農村工業導入により織和工業株式会社鮫川工 場を誘致
1 0 月	東京オリンピック開催	1 0 月	●国勢調査 人口 6404 人、世帯数 1200 戸
4 0 年 2 月	●農業センサス 農家数 968 戸	1 2 月	●山村振興法により鮫川村全域が振興山村に指 定
3 月	●電気導入 村内 64 戸に点灯		

46年	1月	●白河地方広域市町村圏整備組合に加入	50年	5月	●阿武隈南部区域農用地開発事業着工(農用地開発公団阿武隈南部事業所が青年研修所内に設置)
	4月	●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子ハ五選／村議会議員に阿久津光翁ほか17名当選)		7月	●高齢者肉用牛飼育モデル事業実施(16頭)
		●鮫川中学校青生野教室を廃止し生徒を本校に吸収。スクールバス通学実施			●水田飼料作物作付推進家畜導入事業実施(乳牛24頭)
		●過疎地域対策緊急措置法により、過疎地域に指定			●第2次林業構造改善事業計画地域に指定
	8月	●ねたきり老人家庭奉仕員設置		10月	●第2期山村振興計画樹立地域に指定
47年	1月	●統合鮫川中学校施設整備事業完成祝賀式			●国勢調査 人口5700人、世帯数1146戸
		●児童手当支給開始		12月	●テレビ難視聴地域解消事業実施(鮫川中央)
		●「渡瀬獅子舞」を村指定無形民俗文化財に指定	51年	1月	●国民健康保険歯科診療所開設(歯科医師傳邱阿玉)
		●東光寺の「薬師如来立像」を村指定有形文化財に指定		4月	●鮫川小学校戸草分校を廃止し児童を本校に吸収。スクールバス通学実施
	4月	●白河地方広域市町村圏白河消防署鮫川出張所発足		7月	●第2次林業構造改善事業基本計画および実施計画認定
	11月	●村章・村旗制定		8月	●村指定史跡3件を指定(渡瀬村救荒修祭記碑、追分石、越惣太郎就縛の地)
		●農村工業導入により田中メリヤス鮫川工場誘致			●第2期山村振興計画承認(実施年度51～54年度)
	12月	●村民運動場建設(陸上自衛隊福島駐屯部隊に整備事業を委託)		9月	●テレビ難視聴地域解消事業実施(西野・西部)
48年	3月	●西野小学校創立100年記念式典	52年	3月	●古殿町・鮫川村・石川町隔離病舎組合解散
48年	3月	●鮫川村国民健康保険直営診療所及び医師住宅建築(赤坂中野字巡ヶ作119番地に移転新築)			●失業対策村営採石場閉鎖
	4月	●老人保養センター「さざり荘」開所		4月	●鮫川小学校東野分校を廃止し、児童を本校に吸収。スクールバス通学実施
		●鮫川村簡易水道給水開始(配水管延長8046㍎、消火栓20基)			●鮫川幼稚園開設(鮫川小学校に併設。1学級43名)
	7月	●生活合理化運動推進委員会発足			●渡瀬保育所開所(定員60名)
	10月	●西山小学校創立100周年記念式典			●道路管理センター発足
49年	2月	●テレビ難視聴地域解消事業実施(遠ヶ竜)		5月	●東白川畜産振興施設運営組合東野牧場開牧
	4月	●西山児童館開館(定員30名)		6月	●電話自動化(一般加入電話270台、地集電話928台)
	5月	●東光寺薬師堂の「薬師如来立像1化髻・金剛力士立像2髻」県指定重要文財に指定		8月	●学校給食に米飯を取り入れる(小中学校米飯給食実施)
	10月	●東白川地方畜産振興施設運営組合発足			●埜町伝染病隔離病舎組合に加入(埜町・矢祭町・鮫川村の一部事務組合)
	11月	●青生野(蒲谷地)から、戸草、広畑、新宿を通過し、大字西山字鬼越に至る村内延長18335.9㍎が阿武隈山系地域を縦貫する国道349号線として国道審議会を通過		9月	●山村開発センター建築工事竣工・開所
50年	2月	●農業センサス 農家数900戸		10月	●テレビ難視聴地域解消事業実施(西山北・西山南)
	4月	●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子ハ六選〔無投票〕／村議会議員に大樂勝男ほか17名当選)		11月	●村道官沢西山線全線舗装完成
	5月	●阿武隈南部区域農用地開発公団事業基本計画が農林大臣から認可	53年	5月	●鹿角平乾草供給センターおよび戸草預託牧場運営開始(東白川地方畜産振興施設運営組合)

53年10月	●渡瀬小学校創立 100 周年記念式典	58年 4月	●老人保養センター「さぎり荘」が白河地方広域市町村圏整備組合から村に移管され、村民保養施設として運営
54年 2月	●鮫川小学校創立 100 周年記念式典		
4月	●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子八七選〔無投票〕／村議会議員に宗田悦次ほか 17 名当選)		●村長および村議会議員選挙(村長に石田卯子八八選〔無投票〕／村議会議員に森康ほか 15 名当選)
7月	●村青少年健全育成推進協議会発足	9月	●村民保養施設さぎり荘ゲートボール場完成(4 面)
	●野菜指定産地近代化事業実施(トマト共同育苗施設、集出荷施設設置)	59年 4月	●国土調査法に基づく地籍調査実施
	●新農業構造改善事業計画地区指定	5月	●農業者トレーニングセンター屋内水泳プールオープン
	●東白川 4 町村社会福祉協議会で寝たきり老人入浴車運行事業開始	8月	●鮫川村第 1 工業団地造成工事竣工(赤坂西野字見渡地内)
11月	●「水野家書院」村指定有形文化財に指定	10月	●奥久慈木材流通センター運営開始(東白川地方広域林業構造改善事業)
55年 2月	●農業センサス 農家数 872 戸	12月	●鮫川村過疎振興計画策定(後期)
55年 3月	●阿武隈南部区域農用地開発事業完了(総事業費 35 億 5 千万円)	60年 2月	●農業センサス 農家数 843 戸
6月	●新農業構造改善事業計画の認定	4月	●母子健康センター助産部門休止
7月	●永沼歯科鮫川診療所開設		●高額医療費貸付制度開始
	●鮫川村過疎振興地域計画策定(前期)		●農業技術指導センター開所
10月	●国勢調査 人口 5537 人、世帯数 1127 戸	6月	●「天狗橋の緑」「鹿角平の草地」「強滝の緑」「江竜田の滝」がふくしま緑の百景に入選
11月	●第 2 次辺地総合整備計画策定		●鮫川村指定有形文化財 3 件指定(折戸阿弥陀三尊像・富田薬師堂・赤坂家長屋門)
12月	●慶徳農協より善意の救援米 900 ㍑贈呈	10月	●第 3 次辺地総合整備計画策定
	●冷害対策農道土木事業実施		●国勢調査 人口 5423 人、世帯数 1157 戸
12月	●激甚災害の指定(豪雪による森林災害)	61年 3月	●東北電気通信監理局から防災行政無線局認可
	●阿武隈南部区域農用地開発公団事業成果の引渡し(県から村へ)	4月	●農村情報無線施設放送開始
	●冷害による被災農家に対し、村税減免措置を実施(村税の一部を 2 月まで猶予)	5月	●鮫川村青少年広場使用開始
56年 1月	●豪雪による村有林被害木の伐倒整理などを救農対策雪害復旧事業として直営で実施	9月	●鮫川村ふる里振興協議会(村・農協・商工会)設立
5月	●歴史民俗資料館開館		●「江竜田の滝」ふくしまの水 30 選に選定
9月	●母子健康センター助産部門一時休止	62年 2月	●社会福祉法人鮫川村社会福祉協議会設立認可
10月	●福島県林野火災防御訓練実施(鹿角平)	3月	●村税完納 30 年記念式典
12月	●第 3 期山村振興農林漁業対策事業計画策定		●鮫川村村民憲章制定
57年 3月	●森林雪害対策事業実施		●第 1 次鮫川村振興計画策定(目標年次 1995 年)
	●第 3 期山林振興計画認定		●薬師堂等移設工事完成
	●鮫川村民の歌制定	4月	●江竜田地区林野大火災発生(焼失面積・人工林 118.77 ㍏、天然林 20.91 ㍏、計 139.68 ㍏)
4月	●母子健康センター助産部門再開		●村長および村議会議員選挙(村長に芳賀文雄当選／村議会議員に宗田悦次ほか 15 名当選)
	●鮫川・渡瀬保育所に幼児送迎バス運行開始		●鮫川村名誉村民条例制定
58年 2月	●村内各集落に街路灯設置(174 灯)	7月	●東京鮫川会結成(会員 204 名)
3月	●東白川農商高校鮫川分校、大字赤坂中野字宿ノ入 83 番地に新築移転		
	●鮫川村議会議員定数減少条例改定(18 人を 16 人とする)		

62年	7月	●交通死亡事故ゼロ1000日達成	7年	1月	●第40回県広報コンクール(町村の部)で「広報さめがわ」特選
	10月	●石田卯子八元村長(大字赤坂中野字宿ノ入) 鮫川村名誉村民第1号(推戴式10月24日)	7年	2月	●農業センサス 農家数778戸
	12月	●屋内ゲートボール場開所(旧東白川農商高校 鮫川分校体育館)		4月	●村道福原塙線開通
63年	3月	●広域営農団地農道整備事業東白川地区鮫川工 区(江竜田)着手			●村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」オー プン
		●鮫川村庁舎建設基金の設置、管理及び処分に 関する条例制定			●村長および村議会議員選挙(村長に芳賀文雄三 選〔無投票〕／村議会議員に藤田好幸ほか15名 当選〔無投票〕)
	4月	●母子健康センター助産部門廃止		10月	●ごみの分別収集・ごみ袋指定スタート
		●山村留学施設「竹飛歩学園」開園(旧青少年の 家)		12月	●国勢調査 人口4957人、世帯数1107戸
	10月	●鹿角平観光牧場オープン(「第1回高原の鮫川 うまいもの祭り」開催)	8年	1月	●第41回県広報コンクール(町村の部)で「広 報さめがわ」佳作
	12月	●冷害による救農対策事業実施(村有林保育、 土木事業)	3月		●真坂農村公園竣工
64年	1月	昭和天皇崩御、「昭和」から「平成」へ (1月8日)	4月		●村高齢者総合福祉センター「ひだまり荘」開 所
平成	元年	3月	9年	3月	●村税完納40年・地方自治50年記念式典開催
		●江竜田地区林野火災復旧対策事業実施(復旧造 林43.83㍏)		4月	●「ほっとはうす・さめがわ」体験館オープン
		●消防施設整備事業により同設無線戸別受信機 526台設置	10年	1月	●第43回県広報コンクールで「広報さめがわ」 が2部門特選、1部門入選
	11月	●村制施行100周年記念式典(11月3日)		3月	●学校給食センター竣工
		●村100年史発行			●戸倉地区親水公園竣工式
		●歴代村長(公選)顕徳碑建設			●知的障害者授産施設鮫川たんぼの家開所式
2年	3月	●赤十字奉仕団結成		4月	●第49回地方植樹祭(ひだまり荘)
		●酒垂・水口地区飲料水供給施設給水開始			●全国広報コンクール(組み写真の部)で「広報 さめがわ」入選
		●江竜田地区林野火災復旧対策事業実施(復旧 造林21.33㍏)		5月	●村シルバー人材センター設立
	4月	●緑地休養施設「館山公園」オープン		12月	●国道349号バイパス新宿トンネル貫通式
	5月	●農村総合整備計画作成市町村に指定	11年	1月	●第44回県広報コンクールで「広報さめがわ」 が1部門特選、1部門入選、1部門佳作
	10月	●国勢調査 人口5219人、世帯数1112戸		3月	●地域振興券交付(1380名)
3年	4月	●村長および村議会議員選挙(村長に芳賀文雄再 選〔無投票〕／村議会議員に蛭田一外ほか15名 当選)		4月	●村道見渡酒垂線開通式
		●鹿角平天文台オープン			●余所内地区給水施設通水式(29世帯、集会所 施設2か所に給水開始)
		●渡瀬簡易水道給水開始			●交通死亡事故ゼロ1000日達成
5年	3月	●村道田尻関口線開通			●村長および村議会議員選挙(村長に芳賀文雄四 選〔無投票〕／村議会議員に藤田好幸ほか15名 当選〔無投票〕)
6年	3月	●JRバス廃止に伴い、県内で初めての市町村営 バス「あおぞら」を運行開始			●ふるさと農道大塩真坂線開通式
	7月	●戸倉地区簡易排水処理施設完成			●中野地区集落排水処理施設通水式
	9月	●墓地石山農村公園竣工			●中野地区集落排水処理施設通水式
			12年	1月	●国道349号バイパス開通式

12年	1月	●第45回県広報コンクールで「広報さめがわ」2部門特選、1部門入選 ●国蝶オオムラサキ・キャラクターデザインコンテスト審査会	15年	7月	●第13回棚倉町・埴町・鮫川村合併協議会が開催され、住民投票の結果を受けて協議会が解散
				8月	●芳賀村長辞職に伴う村長選挙(村長に大樂勝弘当選)
	2月	●青生野小学校創立100周年記念式典	16年	1月	●第49回県広報コンクールで「広報さめがわ」1部門特選、1部門佳作
	3月	●全国広報コンクールで「広報さめがわ」2部門入選		10月	●交通死亡事故ゼロ3000日達成
	5月	●棚倉警察署鮫川駐在所新築落成	17年	4月	●こどもセンター開所 ●村環境学習館開館
	10月	●国勢調査 人口4602人、世帯数1092戸		6月	●渡瀬区継続完納50年達成記念式典
13年	1月	●第46回県広報コンクールで「広報さめがわ」1部門特選、1部門入選		7月	●富田区継続完納50年達成記念式典
	2月	●村体協創立30周年記念式典		10月	●国勢調査 人口4322人、世帯数1110戸
	10月	●鮫川中統合30周年記念式典		11月	●村農産物加工・直売所「手・まめ・館」オープン
14年	1月	●交通死亡事故ゼロ2000日達成 ●第47回県広報コンクールで「広報さめがわ」1部門特選、1部門入選、1部門佳作	18年	1月	●こどもセンター園歌がタケカワユキヒデ氏より寄贈 ●「まめで達者な村づくり事業」が地域づくり総務大臣表彰(地域振興部門)を受賞
	5月	●西部地区営農飲雑用水施設・塚本地区用水施設通水式		3月	●古殿町・鮫川村学校給食調理業務委託に関する調印式
	6月	●「鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」を可決(富田・渡瀬・西野・鮫川の4校統合が決定)		7月	●赤坂西野区継続完納50年達成記念式典 ●青生野区継続完納50年達成記念式典 ●赤坂中野区継続完納50年達成記念式典
	7月	●棚倉町・埴町・鮫川村合併協議会の設置議案が可決。法定合併協議会「棚倉町・埴町・鮫川村合併協議会」設置調印式(3町村での合併についての協議が本格的にスタート) ●役場新庁舎完成		8月	●古殿町へ学校給食配送開始
	8月	●「鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」を可決(西山小と鮫川小の統合が決定)	19年	4月	●「紙おむつ支援事業」、「妊娠健康検査の公費負担」 ●村議会議員選挙(前田三郎ほか11名当選)
	10月	●村体育協会が社会体育優良団体として文部科学大臣表彰を受賞		6月	●村税完納50年を祝う納税表彰式
	11月	●農道世々麦丸谷地線開通式		7月	●交通死亡事故ゼロ4000日達成
15年	1月	●第48回県広報コンクールで「広報さめがわ」1部門特選、1部門佳作		8月	●村長選挙(大樂勝弘再選〔無投票〕)
	3月	●小学校統合に伴い、西野小・西山小・富田小・渡瀬小で閉校記念式典を開催 ●中の沢集落センター完成		9月	●赤坂東野区・石井草区継続完納50年達成記念式典
	4月	●村長および村議会議員選挙(村長に芳賀文雄五選〔無投票〕／村議会議員に大樂勝弘ほか13名当選〔無投票〕)	20年	1月	●「達者の味噌」が福島県ブランド認証産品認定 ●特定健診・保健指導制度スタート ●鮫川村農村体験交流施設「山王の里」オープン
	7月	●鮫川村が棚倉町・埴町と合併することの賛否を問う住民投票(賛成28.95%、反対69.69%。鮫川村と埴町で反対多数となる)		7月	●鮫川村農村体験交流協議会(GT協議会)の発足
				8月	●ゆうきの里づくり研修会にて鮫川村バイオマスヴィレッジ構想の発表
				9月	●個人県民税46年連続達成 ●東石区納税貯蓄組合に振興局長から感謝状
				11月	●裁判員制度開始

20年11月	●鮫川村ゆうきの里づくりブランド認定書(7作物・24品種)認定	25年6月	●ふるさと林道「酒垂宝木線」開通
21年3月	●特養さめがわ・グループホームさめがわ開設	7月	●交通死亡事故ゼロ1000日達成
4月	●岩野草地区給水施設通水	25年11月	●村民の店「すまいる」オープン
7月	●環境美化宣言採択	12月	●村学校給食センター第8回学校給食甲子園協賛企業賞
10月	●平成21年度交通安全功労者表彰で交通対策本部長表彰受賞	26年1月	●第59回県広報コンクール(町村の部)で「広報さめがわ」入選
11月	●村学校給食センター第4回全国学校給食甲子園入賞	3月	●第1回鮫川村こども模擬議会
22年4月	●村商工会青年部設立40周年記念式典		●さざり荘建築文化賞復興賞受賞
8月	●鮫川村と東京農大が連携協定調印	6月	●仮設焼却施設運転再開
	●光ファイバー網整備		●青生野小「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰
9月	●村学校給食センター学校給食優良団体受賞	27年1月	●第60回県広報コンクール(町村の部)で「広報さめがわ」入選
10月	●国勢調査 人口3989人、世帯数1106戸		●第4次鮫川村振興計画の基本構想策定
12月	●村学校給食センター第5回全国学校給食甲子園2年連続入賞	4月	●村議会議員選挙(関根英也ほか9名当選)
23年1月	●村学校給食センター第3回地産地消給食等メニューコンテストにて農林水産省生産局長と審査委員特別受賞	6月	●鹿角平クロスカントリー林間コース完成記念式典
3月	●東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、村の震度5弱(4.7)	8月	●富田区・渡瀬区納税継続完納60年達成
	●村学校給食センターが「食育」活動優良事例表彰式にて東北農政局長賞受賞	10月	マイナンバー制度開始
	●「さめがわ民話の会」発足		●村長選挙(大樂勝弘四選〔無投票〕)
	●村議会議員選挙(前田三郎ほか11名当選〔無投票〕)	12月	個人番号カード交付始まる
	●消防団3分団制に変更	28年1月	●第61回県広報コンクール(町村の部)で「広報さめがわ」入選
	●村民保養施設「さざり荘」改築	4月	●交通死亡事故ゼロ2000日達成
5月	●手・まめ・館喫茶オープン	5月	●第1回鮫川村人口ビジョン・総合戦略策定
8月	●村長選挙(大樂勝弘三選〔無投票〕)		●村学校給食センターがふくしま地産地消大賞受賞
10月	●大字青生野新設		●鹿角平クロスカントリー桜100本植樹(桜の名所づくり事業)
12月	●村学校給食センター文部科学大臣表彰受賞	6月	●さざり荘入館者15万人、村民の店「すまいる」来店者10万人達成
24年4月	●鹿角平クロスカントリーコースオープン	9月	●赤坂西野区・赤坂中野区継続完納60年達成
	●落合地区給水施設通水	11月	●鮫川村仮設焼却炉監視委員会解散
8月	●西山区継続完納60年達成		●第9回地産地消給食等メニューコンテスト東北農政局長賞
12月	●村学校給食センター第7回全国学校給食甲子園入賞	12月	●青生野区継続完納60年達成
25年1月	●第58回県広報コンクール(町村の部)で「広報さめがわ」入選	29年4月	●役場組織5課制に変更
2月	●鮫川村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」開所	6月	●鹿野角平天文台の望遠鏡リニューアル
3月	●仮設焼却炉監視委員会による監視活動開始	7月	●赤坂東野区・石井草区継続完納60年達成
4月	●鮫川村図書館再オープン	10月	●青生野小学校統合
		11月	●高原の鮫川うまいもの祭り30周年

30年	3月	●青生野小学校閉校記念式典	3年	4月	●お食事処温泉旅館「結び」オープン
30年	4月	●こどもセンター、幼保連携型認定こども園に移行		9月	●学校教育検討委員会の発足
	5月	●鍬木田配水池更新	4年	3月	●福島県立修明高等学校鮫川校閉校
	7月	●鮫川村消防団、福島民報社金ばれん受賞		6月	●鮫川村とよい仕事おこしフェア実行委員会（事務局:城南信用金庫）が包括連携協定締結
31年	4月	●村議会議員選挙(関根政雄ほか9名当選〔無投票〕)		9月	●鮫池伝説海と日本プロジェクト「海ノ民話のまち」認定
	5月	上皇陛下生前退位、「平成」から「令和」へ(5月1日)		12月	●鮫川村指定有形文化財2件指定(赤坂館、熊野神社飛翔獅子型狛犬)
令和元年	8月	●村長選挙(関根政雄当選)			●鮫川村天然記念物1件指定(強滝甌穴群)
		●村議会議員補欠選挙(関根浩治当選〔無投票〕)	5年	3月	●国道289号線渡瀬バイパス開通
	10月	消費税10%に引き上げ		4月	●役場組織5課1室制に変更
2年	2月	●青少年広場改修工事完成式典を行う		7月	●村議会議員選挙（緑川茂ほか9名当選）
		●全国広報コンクール2020「村ホームページ」ウェブサイト(町村部)入賞			●交通死亡事故ゼロ1000日達成
	9月	●県知事より個人県民税優良町村感謝状	6年	12月	●グッドライフアワード2024環境大臣賞（自治体部門）受賞
		●村赤十字奉仕団、赤十字社長感謝状受賞			
		●国勢調査 人口3049人、世帯数1006戸			
3年	3月	●交流施設「ほっとはうす・さめがわ」閉鎖			

鮫川村勢要覧資料編

Samegawa Data Book

発行 福島県鮫川村

〒963-8401

福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39 番地 5

電話 0247-57-6332 FAX 0247-49-3363

URL <https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

E メール suishin@vill.samegawa.fukushima.jp

編集 鮫川村役場 村づくり推進室